

ゆうがく



2025 JUN.

vol.88

ユネスコ創造都市山形で学ぶということ



10年前、2015年に客員教授に就任した際の「ゆうがく」掲載の自己紹介文を読み返してみました。川西町出身の井上ひさしさんの戯曲『父と暮らせば』のイタリア・ボローニャ市でのイタリア語版上演に参加し、作品と背景を観客に解説したことを報告しました。

井上さんの『ボローニャ紀行』をテキストにまちづくりを考える勉強会を市民有志の皆さんと始めたことがきっかけで2013年に現地を初訪問しました。以来、その本に登場するニーノ先生(ジョバンニ・ペテルノッリ氏)が主宰する東洋美術研究所が所蔵する大量の浮世絵などの日本関連資料の調査を行いつつ、山形とボローニャをつなぐ取り組みにかかわってきました。

ボローニャと私のご縁は今も続き、毎年日本、そして山形の文化、たとえば浮世絵・俳句・茶道・華道・歌舞伎・紅花・着物などを紹介するプログラムを東洋美術研究所とボローニャ大学博物館を拠点に実施しています。

山形とボローニャには共通点があります。ともにユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の「創造都市ネットワーク」加盟都市であることです。

「グローバル化」の名の下に世界の文化・価値観が画一化し大国や巨大都市が世界を序列化していく流れが加速しています。そのことへの危機感を背景にし、ユニークな文化を持つ中小規模の都市が連携し、国連の「SDGs」(持続可能な開発目標)をサポートし世界の多様性を維持していこうとする取り組みがこのネットワークです。

ボローニャはネットワークの中心的存在です。山形県は山形市と鶴岡市の2都市が加盟する世界でも先進的な地域です。

文化を支える力となるのは都市に高等教育機関が存在することと市民の意欲です。ボローニャには1088年創立のヨーロッパ最古のボローニャ大学、山形には山形大、芸工大、東北文教大など、そして何よりも市民も多く学ぶ放送大学山形学習センターがあります。

世界での日本文化への関心がかつてなく高まっています。私が大学で日本文学を専攻した頃には想像できなかった現象です。日本語・日本文化、そして日本人の価値観や美意識を伝える楽しさと文化を「翻訳(説明)」する難しさを感じつつ取り組む日々です。その経験を生かし、放送大学で学ぶ皆さんの日本文化再発見をサポートして参りたいと思います。

山形学習センター所長

山本 陽史





令和6年度 第2学期 学位記授与式を開催しました

令和6年度第2学期学位記授与式を令和7年3月29日(土)、山形学習センターにおいて開催しました。

当センターからは、教養学部28名の皆さんが学位を取得され、当日は出席された14名お一人お一人に、山本陽史所長から学位記が授与されました。

山形学習センターでは、卒業時に特に優秀な学業成績を修められた学生を顕彰しており、今回は3つ目のコースを修了された安達喜久江さん、新羅尚史さん、秋場恵美さん、鈴木聡さんの4名が「生涯学習奨励賞」を受賞されました。

山本所長からは式辞で、卒業生が長年にわたりご努力され学位を取得されたことに、お祝いと労いの言葉がありました。

様々な苦労や困難を克服されご卒業された皆様、誠におめでとうございます。皆様の晴れやかな姿が全科履修生の目標の一つとなっています。皆様の今後ますますのご活躍をお祈りします。

【教養学部】

生活と福祉コース	3名
心理と教育コース	8名
社会と産業コース	8名
人間と文化コース	4名
情報コース	2名
自然と環境コース	3名



学位記授与式を終えての集合写真



卒業生体験談

「学ぶ楽しみ・知る喜び」

心理と教育コース 山口 朝子さん

興味のある科目を自由に選び、いつでもどこでも学べる放送大学は私にとって大変嬉しい機会でした。

毎日が仕事や家事・育児・雑事に追われていましたが、子供達の手が離れた頃から、これまでの自分を振り返り、今後の生き方を考えるようになり、そんな時に放送大学での学びの場を知り入学しました。特に保健・医療・教育の仕事に従事していましたので「心理と教育コース」は大切な学びであり有意義な時間でした。自ら興味を持った学びは、とても楽しく充実した日々であり、知らなかった事が解るのは喜びでした。

ただ、両親の介護や急な用事で面接授業が受講できなくなったり、都合で休学したりして卒業までに時間がかかりましたが、むしろ再入学を通してゆっくりと学びを楽しむ事ができました。特に、面接授業の熱心な先生方には、心の触れ合いを感じ良い思い出となり感謝しています。

今は高齢者となりましたが、これからも興味ある色々な学びを通して、生きる意味を考え続けていきたいと思っています。

「やる気スイッチはどこに？」

社会と産業コース 片桐 香代さん

前コースを卒業し、次の「社会と産業コース」に進んだ時、最も難儀したのがやる気スイッチがなかなか見つけれなかったことです。あまりにも前コースが楽しく面白かったので、次コースの一年目は単位認定にならない、前コースの科目と面接授業を選んでいました。そんな中漫然と過ごすなら辞めた方がいいのでは?とも考えましたが、辞める前にせっかく入学したコースの科目を一つでもやってからにしようかな!と取り組んだ科目がことのほか面白く、俄然やる気スイッチが目覚めてきました。と同時にまだまだ無知の自分をも痛感。

そんなこんなでいろいろあった2コース目でしたが、続けた結果、新しい世界を知り視野が広がったことが何よりの収穫でした。そして再び学ぶことの楽しさを取り戻せたのは嬉しい限りです。

これからも未知の世界を知る楽しさを持ち続け学んで行きたいと思います。

「2コース卒業で目標一段落」

社会と産業コース 大通 正さん

四十数年前、私は小学校教諭を目指すべく大学で学んでいましたが、公務員試験合格を機に大学を中途退学し公務員の途を選びました。二人の子供が大学を卒業し社会人となり一息つける様になると中途半端にした大学を卒業したいとの思いに駆られる様になり一念発起し退職を機に放送大学「心理と教育コース」へ入学する事にしました。当初は卒業だけ目指し学んでいましたが、認定心理士資格がある事を知り取得を目指す事に。まずは科目群履修認証制度で心理学基礎、臨床心理学基礎、福祉コーディネータを取得、次は認定心理士資格取得と思いきやコロナ禍で「心理学実験」の面接授業が出来ず卒業となり「社会と産業コース」へ再入学して2つ目のコース卒業と認定心理士資格取得を目指す事にしました。お陰様で昨年10月認定心理士資格を取得、今年コース卒業も出来ました。これで私の目標も一段落です。感謝申し上げます。

「地域コミュニティとの関わり」

社会と産業コース 秋場 恵美さん

8年前、「心理と教育コース」を専攻した入学者の集いで「放送大学で身に付けた知識を社会に還元してほしい」という趣旨のお話を聞きました。当時の私は地域社会との結びつきがほとんどなく、自分がそこに関わる姿など全く想像ができませんでした。きっかけは「生活と福祉コース」を卒業した年に、福祉協力員を打診されたことです。今までの学びを生かせるのではないかと思わず引き受けていました。

次に受講した「社会と産業コース」の講義は、私に新たな視野を与えてくれました。ここでは地域コミュニティの大切さを学びました。地域防災、環境、コミュニケーションの在り方など、地域として考えることの大切さと、その中で自分に関わるべき事を示してくれたように思います。今では町内会での役割が増えました。人見知りの私が、運動や福祉関係のイベント、老く連関連の仕事にも関わるようになっていきます。

放送大学で得た知識は年齢にかかわらず可能性を広げてくれました。これからも未知なる領域に連れて行ってくれることを楽しみにしています。

「3回目の卒業」

人間と文化コース 鈴木 聡さん

初めて放送大学に入学してから12年が経過し、この度3回目の卒業を迎えました。

放送大学で学ぶうちに社会教育に興味をもち、司書と学芸員の資格を取得しました。司書は他大学の通信課程で単位を修得し、学芸員は放送大学の放送授業と他大学の「博物館実習」の講義で単位を修得し、それぞれ資格を得ることができました。その後、これまでしてきた仕事をやめ、社会教育施設で仕事をしたいと就職活動を経て参りましたところ、5月から社会教育施設で働かせていただけることになりました。これまで学び続けてきたことで夢が叶ったことを、とてもうれしく思います。これからは、社会教育施設の一員として来館される方のためにがんばってきたいと考えています。

4月からは、「社会と産業コース」に再入学し、学ぶことを続けていきます。これからもよろしくお願いいたします。

「一つ一つ」

人間と文化コース 田中 千恵美さん

仕事をしながらでも、何かやりたいと始めた勉強。卒業などは夢と思い最初は科目履修生からスタート。それが驚くほど、おもしろかった。

仕事で気になった事、ニュースで気になった事に、一つ一つ答えが見つかり、さらに興味が広がった。

取得単位が増える毎に自分に自信がついた。面接授業で会う仲間達もステキだった。こんな歳のとり方をしたいとあこがれた。

小さな好奇心から始めた放送大学の勉強が今、自分の世界を広げてくれた事に気付く。勉強してよかった。確かに試験は少し大変だけどやってよかった。

これからも楽しみながら、勉強を続けたいと思っています。

「共にまなぶ」

情報コース 熊谷 均さん

学位授与式に出席し、放送大学学歌を眺めていると「見えない友と 共に生き 共にまなぶ」という歌詞が目に入ってきました。振り返ってみると、コロナ禍より前は、山形学習センターで学生の一人として学習する機会が多くありましたが、言葉を交わすことはほとんどなくとも、「見える友」と共に学んでいる実感がありました。コロナ禍以後は、学習センターから足が遠のき、試験も自宅となり、学歌のとおり「見えない友」となってしまったと思ったところでした。一人で学習することは、生活の一部となっており、あまり苦痛ということは感じなくなっています。しかし、面接授業では、体感できる刺激、発見が、知識として後々まで記憶に刻まれると感じています。

この度、新たなコースに入学を決めたところですが、貴重な面接授業を積極的に選択し、学歌の2番にあるように「親しい友と 語り合い 共にまなぶ」ことができたいと思っています。

「「学べること」への感謝」

自然と環境コース 武田 佳世子さん

私が放送大学へ初めて入学してから、随分長い時間が流れました。その頃は仕事をしながらの学習でした。久しぶりの学びは新鮮で、ワクワクしながら学習に取り組んだ事を鮮明に覚えています。

特に面接授業はとても楽しかったです。学問もかつてないほどの早さでアップデートされます。最新の知識を一流の先生方から学べる放送大学には、心より感謝しています。

「自然と環境コース」では、今、常に世界中が注視している地球環境の「正に今」を深く学ぶことができました。微力ながら一人の人間として、どう環境を守り生きるかを真剣に考えました。

6コース最後の「情報コース」の学びも4月から始まっています。現在に至るまでは多くの方々の支えがあってこそです。感謝を忘れず最後のコースもがんばって進んで行きたいです。



令和7年度 山形学習センター客員教員紹介



荒木 志伸

山形大学学術研究院
教授(学士課程基盤教育機構)
専門:日本考古学

学びのサロン

「木札から歴史をよむ」

四国八十八ヶ所霊場でお遍路さんが用いたお札や近年発見された山寺の大量の木札から庶民信仰の実態について考えます。

専門は日本考古学です。山形県の山寺立石寺や出羽三山、宮城県の松島・瑞巖寺など霊場の調査や、奈良・平安時代の文字や絵が記された墨書土器、木簡等の出土資料の研究をおこなっています。歴史に少しでも興味がある方は、どんなことでも構いませんので、気軽にお問合せください。山形県内には、身近なところにも貴重な文化財や史跡がたくさんあります。皆さんの学生生活が楽しく豊かになるよう、お手伝いさせて頂ければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



池田 光則

山形大学学術研究院
教授(人文社会科学部担当)
専門:言語学

学びのサロン

「ことばの仕組みを探る」

ことばに隠されている仕組み・法則をいっしょに探求します。日頃感じている疑問をどんどん出して解明しましょう。

今年1年間、客員教員をつとめます。以前に何度か面接授業で言語学などの講義を担当しました。幅広い年齢層、様々な経験をお持ちの受講生の方々から新鮮な刺激を受けたことが印象に残っています。

私の専門は「言語学」です。言語学は、少々大げさな言い方をすれば、「ことば」に関する様々な謎を解明し、誰にでもわかる言葉で説明する学問です。「学びのサロン」では「謎」に気づくところから始めて、その解明にチャレンジしましょう。サロンや学習相談などを通じて、お互いに刺激を与え合うことができる1年間になることを願っています。



臼杵 毅

山形大学学術研究院
教授(理学部担当)
専門:物質科学・材料科学・物理化学

学びのサロン

「現代社会の問題点と科学技術」

科学技術と現代社会の相互共生関係について問題意識を持ちながら参加型演習形式で考察します。

本年度から客員教員として勤務することになりました。様々な物質の機能や性質を実験的に明らかにする研究をしています。例えば、カチカチの固体の中をイオンが動く(つまり電気が流れる)特殊なガラスがあって、国内外の大型施設での実験から何故そんなことが起こるのかの謎解きにチャレンジしています。世の中には不思議な物質が沢山あります。そしてそれらに関わる物理や化学や数学があります。そんな世界を皆さんと共有できたらと思っています。



小泉 有紀子

山形大学学術研究院
教授(人文社会科学部担当)
専門:英語学・心理言語学・英語教育

学びのサロン

「山形を英語で紹介しよう

～Explain Yamagata in English!」

日本や山形の観光地や文化、社会について英語で説明するにはどうしたらいいか、一緒に学びます。

こんにちは。本年度で3年目となりました。専門分野は英語学(心理言語学や英語教育)です。人間の言語理解のメカニズムや、英語の学習法・指導法に興味を持っています。昨年は学びのサロンでは英語のライティングの基礎を、また面接授業では音楽の歌詞を通して言語学の基礎を学ぶ授業を担当しました。今年もみなさんの学びのサポートをしていきますので、よろしくお願いいたします。放送大学での学習をぜひ楽しんでください!

- 客員教員及び所長が学生からの学習に関する様々な相談に応じています(要予約・1時間以内)。
- ゼミ形式で気軽に学び合える『学びのサロン』を開催しています(受講料無料。単位にはなりません)。
- 詳しくは山形学習センターのウェブサイトをご覧ください。



佐藤 寿晃

山形県立保健医療大学 教授
専門:運動障がい作業療法学

学びのサロン

「健康づくりのための身体活動・座位行動について考える」
社会生活、生活習慣の変化から、ライフステージを踏まえた健康づくりについて考えます。

客員教員をしております佐藤寿晃(さとう としあき)です。

専門分野は、作業療法学、リハビリテーション全般です。今年度の【学びのサロン】では、【健康づくりのための身体活動・座位行動について考える】をテーマに、皆さんと健康づくりについて考えていきたいと思います。興味がありましたら、是非ご参加ください。



河合 輝久

山形大学学術研究院
准教授(地域教育文化学部担当)
専門:臨床心理学

学びのサロン

「“きく”スキルをまなぶ」
日常生活のコミュニケーションに応用できることを目標に、心理援助の専門家の話のきき方を学びます。

専門は臨床心理学です。こころの問題について、実践や研究でわかったことを使って、人々をサポートする心理学の一分野です。特に、非専門家の人々におけるメンタルヘルスの問題に対する理解と初期支援に関心があります。学生生活では、自助努力も大事ですが、それと同時に上手に周囲からのサポートも得て対処していくこともまた重要だと考えています。学んでいく過程で迷ったり行き詰ったり、自力での解決が難しくなったり等した時は、お気軽にご相談ください。みなさんの学びを応援します。



千葉 登

山形県立保健医療大学 准教授
専門:リハビリテーション学・
身体障がい作業療法学

学びのサロン

「物忘れ予防・認知症予防」
記憶や物忘れの仕組み、物忘れと認知症の違い等を学習し、認知症になっても安心して暮らせる環境について考えます。

リハビリテーション職種の一つである「作業療法士」の資格を有しており、病院での勤務経験を通じた作業療法学を専門としています。近年は、病気や障がいになる前の健康維持・健康増進についても興味があり「学びのサロン」にて受講生と勉強させていただいております。興味のある方は「学びのサロン」にお越しください。また、学習相談等も随時受け付け、少しでも皆さんの学習のお手伝いできればと思っています。よろしくお願いします。



半田 直子

山形県立保健医療大学 准教授
専門:看護学

学びのサロン

「カラダのしくみ」
一緒に人間のカラダに関する書籍(文献)を読みながらカラダの仕組みを理解しましょう。

私の専門分野は看護学です。看護は対象となる人に思いを寄せ、健康な日常生活を送るために必要な支援は何かを考えて実践する学問です。私の専門は、看護技術・フィジカルアセスメント(触診や聴診などの技術から身体の情報を集めて評価し看護に繋げる)・家族看護などで、看護の土台となる基礎づくりをしています。

皆様が学習を進める中で感じた疑問や問いを一緒に考えながら学んでいきたいと思います。学ぶことで世界は広がります。今まで知らなかったことが「わかる!」その喜びを放送大学で実感してください。



面接授業探訪

「考古学から見た山寺立石寺」 荒木 志伸 先生（山形大学）

2024年度第2学期の面接授業の中から好評だった、外に出ての授業を紹介します！

1日目は山形学習センターで、山寺立石寺の概要や成り立ちなど、立石寺の歴史と石造文化を中心に学びました。2日目は会場を「山寺立石寺」と「山寺芭蕉記念館」に移し、住職さんや学芸員の方からも解説を聞きつつ、立石寺の変遷について学習しました。受講者からは、「現地の石造物や宝物殿を見ることができ、充実した授業内容だった」「座学だけではなく現地を見学して霊場の雰囲気を感じることで、より一層理解が深まった」と好評を得ています。

2025年度第2学期にも開講を予定しています。お楽しみに！



第2学期の面接授業予告

2025年度第2学期には、山形にゆかりの科目も含め、多彩な科目を開講予定です。

ここに紹介しているほかにもたくさんあります。関心のある科目を受講してみませんか？

「劇場文化の可能性を探究する」 西濱 秀樹 先生 他（山形交響楽団）

山形交響楽団の皆様を講師に招き、実際の稽古見学や解説を実施します。また、授業内でオペラ「蝶々夫人」の鑑賞を行います。この貴重な機会にオペラの魅力と奥深さに触れてみませんか。



「化粧品学」 野々村 美宗 先生（山形大学）

化粧品の働きや成分を学ぶとともに、自分に合った化粧品を選ぶためのノウハウや、実際の化粧品に触れたりしながら、美容の知識を深めていきます。化粧品に興味のある方には特におすすめの授業です。

「ヤマダイミズアブと循環型社会」 佐藤 智 先生（山形大学）

山形大学で繁殖させたハエ目の一種・アメリカミズアブが食品廃棄物を分解し、資源へと生まれ変わる仕組みなどを学びます。食品廃棄物問題の現状と自然の循環システムについての考察や、授業内で海外との意見交換会も実施されます。実践的な知識を楽しく学びましょう。

「応用EXCEL」(BYOD科目) 近藤 慎一 先生（山形大学）

この授業では、エクセルの基本的な使い方から、関数や参照の活用法、マクロやVBAによる自動化までを学びます。業務効率化やデータ分析に欠かせないスキルを実践的に習得し、エクセルを使いこなす力を高めましょう。

「蔦屋重三郎とその時代」 佐藤 琴 先生 他（山形大学）

今年の大河ドラマの主人公・蔦屋重三郎を中心とした江戸の文学と絵画について、当時の社会背景を踏まえつつ学んでいきます。蔦重の業績と江戸時代の文化がどのように結びついていったかを探り、ドラマをより深く楽しみましょう。

「美術館の展示を読む」 岡部 信幸 先生 他（山形美術館）

2日目は山形美術館で「学芸員」の方に解説をいただきながらの「収蔵作品の鑑賞」を行います。美術館の展示の意図や、企画展実現のプロセスなどについて学び、美術館の「舞台裏」を知ること、芸術への理解が深まり、美術館がより身近で魅力的な場所に感じられるようになるでしょう。

単位認定試験に向けての研修会を開催します！

1学期Web単位認定試験が下記日程にて実施されます。

実施方法	出題形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	7月16日（水）9：00～7月24日（木）17：00
	記述式・併用式科目	7月16日（水）9：00～7月20日（日）17：00
郵送試験	すべての出題形式	7月16日（水）～7月20日（日）必着

山形学習センターでは、初めてWeb単位認定試験を受験する学生の方を対象に体験会を個別的に下記の日程で開催します。所要時間は概ね30分を予定しています。

【体験会日程】

- ①7月11日（金）10:30～16:00（随時）
- ②7月12日（土）10:30～16:00（随時）
- ③7月13日（日）10:30～16:00（随時）

※参加を希望される方は、事前に電話かメールにて予約をお願いします。



【お申込み先】

電話：023(646)8836 メール：ymg-sc@ouj.ac.jp

※また、Web単位認定試験体験が「WAKABA」で公開されています。操作の確認のためにも試験開始前までに、操作方法について必ず確認をお願いします。

第2学期の出願登録・科目登録を忘れずに！

単位認定試験が終わると次学期の準備期間です。忘れずに登録しましょう。

《令和7年9月末日で学籍が切れる方》

※科目登録申請の前に継続入学手続きが必要です。

第1回期限：6月10日（火）～8月29日（金）

第2回期限：8月30日（土）～9月11日（木）

期間内に到着するよう余裕をもって申請してください。

《令和7年10月以降も学籍が続く方》

※科目登録申請を行ってください。

Web申請期間：8月15日（金）～8月29日（金）

郵送申請期間：8月15日（金）～8月28日（木）

2学期の面接授業も科目登録希望される方は8月15日～8月29日の間にWebより科目登録申請を行ってください。



令和7年度第1学期入学者の集いを開催しました

今学期、山形学習センター(山形SC)には継続入学の方を含め153名が入学され、4月12日(土)に当センターにおいて「令和7年度第1学期入学者の集い」を開催しました。

放送大学岩永雅也学長からの入学者へのメッセージの上映に引き続き、山本陽史所長から入学者の皆さんにお祝いの言葉がありました。

ガイダンスでは、山形SCの利用方法や修学上の留意事項等について、山形SCのウェブサイトやシステムWAKABAの画面等も紹介しながら確認し、入学者の皆さんも今後の学習に向け理解を深めることができたようです。

最後に、センターに所属する5つのサークル(ゆうがくの会、英語講読会、国文学を読む会、パソコンクラブ、書道サークル)の代表者の皆さんから各サークルの紹介と入会のご案内がありました。

皆さん、山形SCで楽しく学びを深めていきましょう!



公開講演会

公開講演会を開催します!(山形市予定)

- ▶10月5日(日)午後予定(午前中は「第2学期入学者の集い」を開催予定)
- ▶高橋義夫氏(山形市在住、時代小説家・直木賞作家)の講演、高橋氏と山本所長による、今話題の江戸文化についての対談を予定しています!
- ▶詳細が決まり次第、山形SCウェブサイトでお知らせします。お楽しみに!



同窓会通信

東北・北海道ブロック同窓会交流会を山形市を会場に開催します!

- ▶9月6日(土)13:30~7日(日)11:30(予定)
- ▶1日目は客員教員の荒木志伸先生の講演「最上義光とその功績(仮題)」、2日目は荒木先生と山形市霞城公園の史跡探訪を行います。
- ▶詳細が決まり次第、山形SCウェブサイトでもお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています!



山形学習センターX(エックス・旧Twitter)を開設しました!

- ▶学習センターの情報をタイムリーに発信します!
- ▶こちらのコードからアクセスまたは で検索してください。



フォロー
してね!

重要!

大事なお知らせを見逃さないように
キャンパスメールや山形SCウェブサイトを定期的に確認しましょう!!

お問合せ・資料請求・お申込みは

▶インターネットでも出願や資料請求(無料)ができます! www.ouj.ac.jp

放送大学

検索

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル10階

放送大学山形学習センター

TEL 023-646-8836 FAX 023-646-8838

E-mail ymg-sc@ouj.ac.jp

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamagata/>

